

災害に備える。
ガスが叶える。

もしもの時の
強い味方！



家族を守るために 今できること。

南海トラフ地震が今後 30 年以内に発生する確率は、
70%～80%とされています。

「まさか」の災害が起こったとき、避難所等での生活を
強いられることは想像以上の困難を伴います。

「ガスがあってよかった!」「電気があってよかった!」

何不自由なく生活できる今だからこそ、

「まさか」の時に自宅で生活するための備えをご提案します。



ひとたび災害にみまわれたら…

ライフラインの復旧まで避難所での生活 家族で移動するのも一苦勞



避難先では
プライベートの確保が難しく
常に気を遣いながらの生活



人が密集するため
感染症による
集団感染のリスクがある



避難所が近くても
移動が困難な
人にとっては大移動

自宅に残りたくても電気が使えない…



電気が止まり
冷蔵庫の食材がダメに…
買い出しに行くのも困難



冷暖房機器が使用できず
熱中症などの危険も



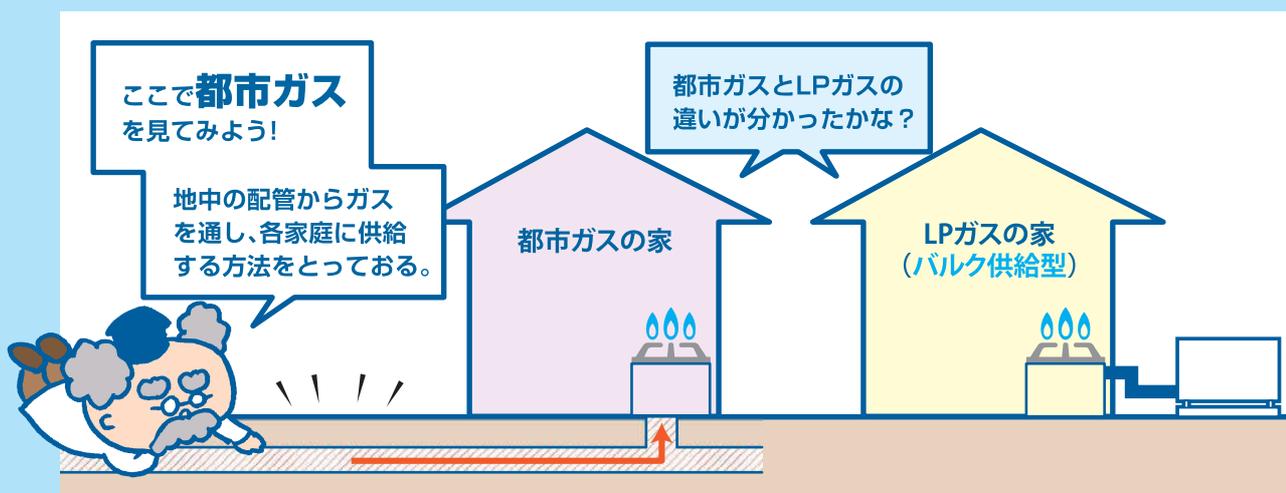
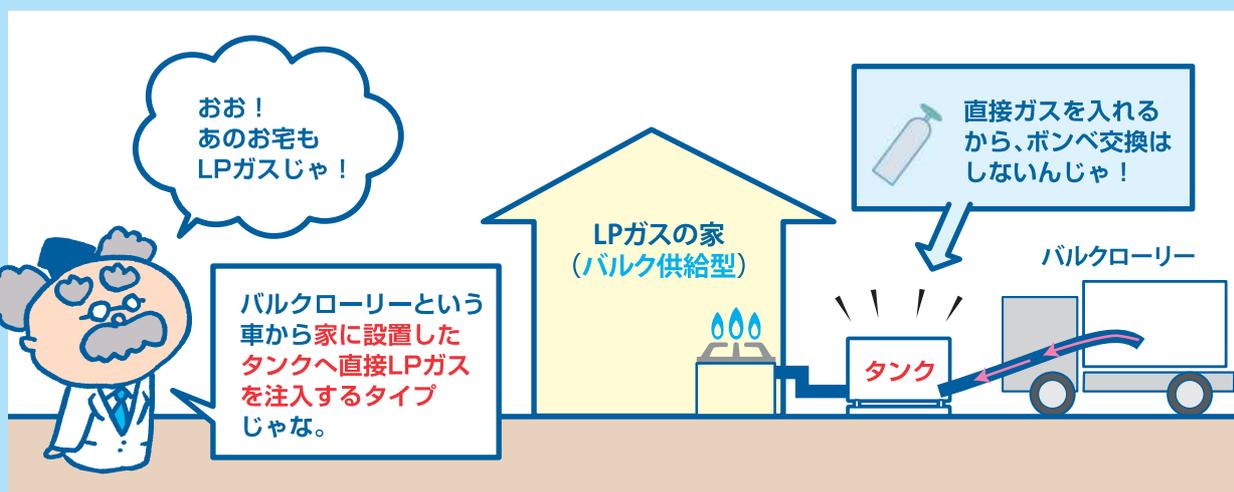
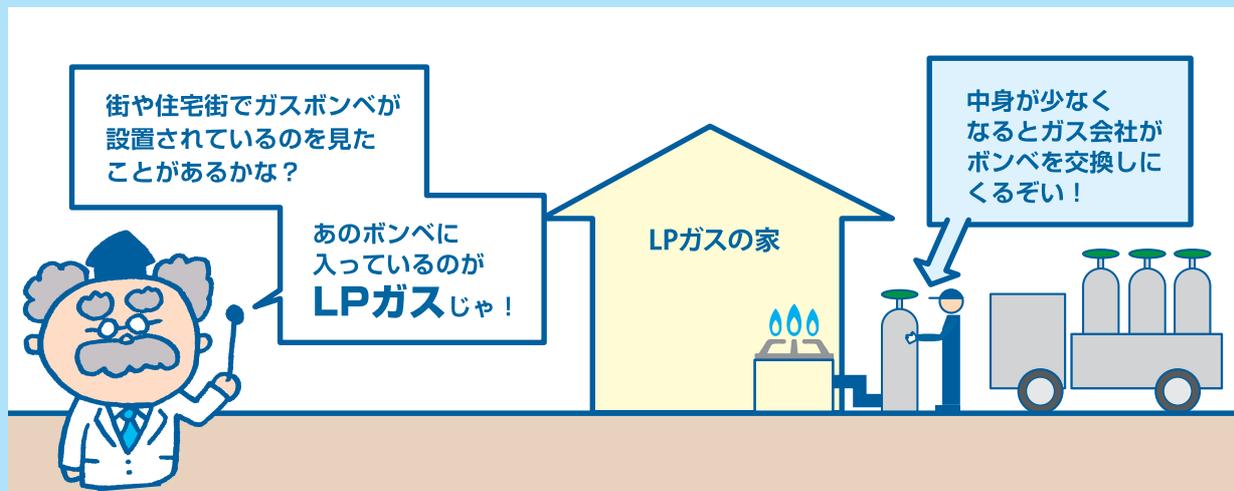
テレビの使用や携帯電話の充電が
できないため災害情報を得られない

復旧までの間に「**自宅で発電する**」方法があります。
災害時に強い**“LPガス”**を使った発電をご紹介します！





そもそも“LPガス”ってなに？

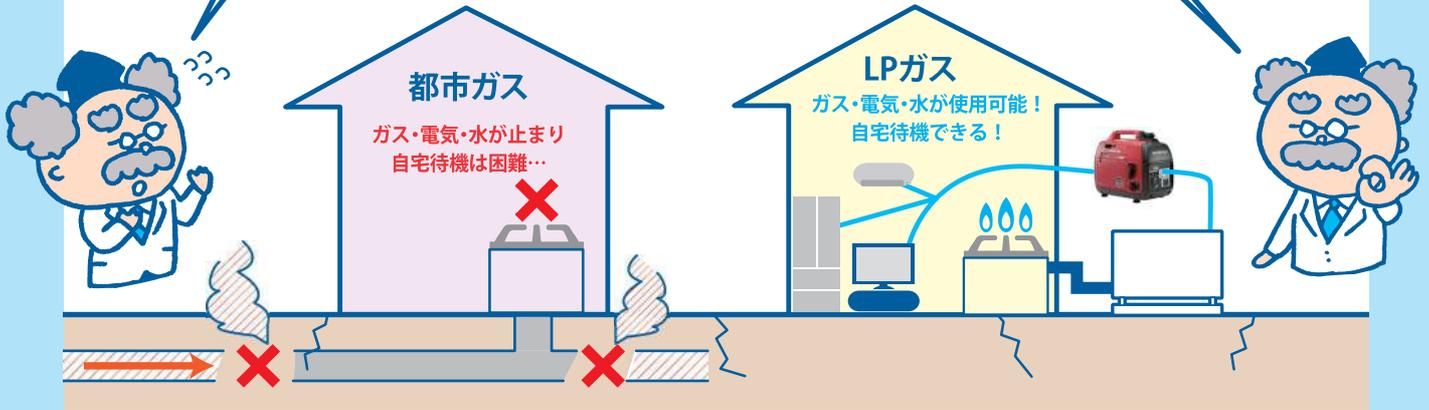


もしも突然、災害が起こったら…

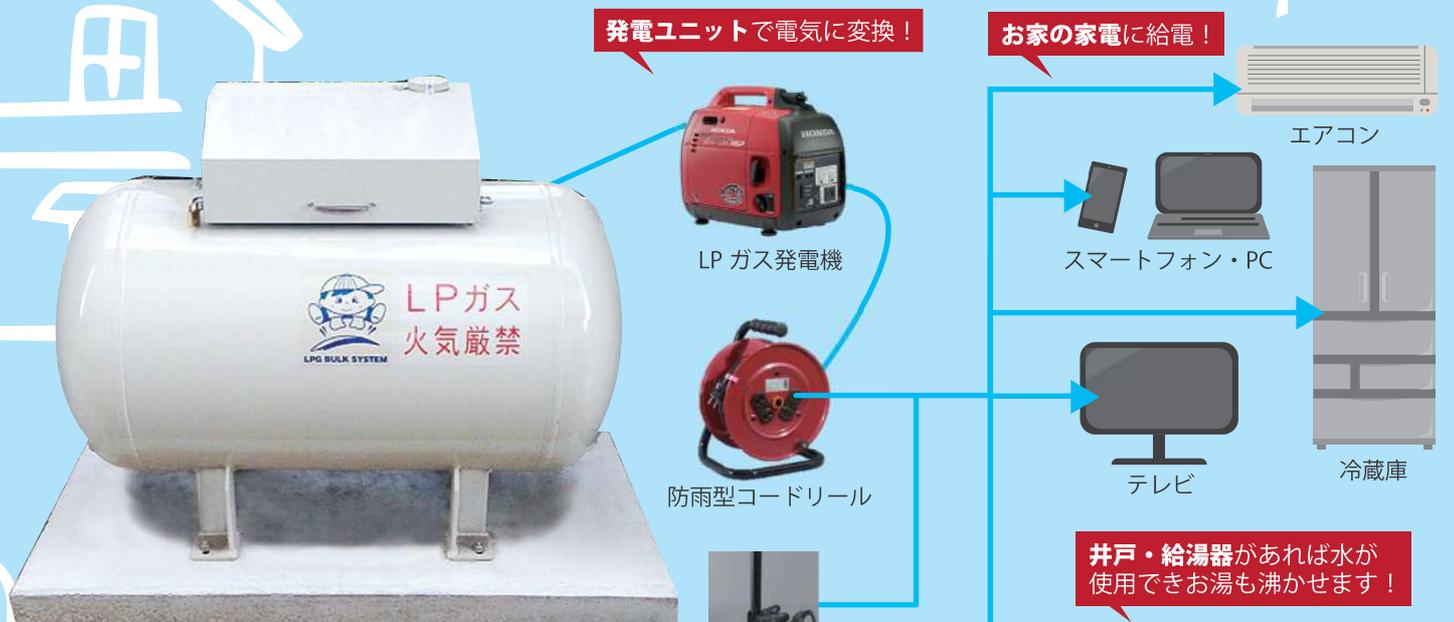
災害発生!!

都市ガスは地中の配管が損傷すると、都市ガスユーザーへの**ガスの供給がストップ**してしまうじゃ。復旧にも**時間がかかってしまう**ようじゃ…停電が起こり、都市ガスが生きていた場合でも、電気へ転用できないから生活に困ってしまうのう。

LPガス(バルク供給タイプ)は自宅にタンクが設置してあるから、**災害時にもガスが使える!**発電機・給水ユニットと組み合わせれば、**電気・水の供給もできる**んじゃ!普段使っている家電も使えるからとっても助かるのう!



災害時に強い! / LPガスでの発電!



ワンタッチで操作もラクラク♪

ワンタッチ緊急自立ユニット「イザット」

I-ZATTO

For Public Produced by SmilegasCo.,LTD.

井戸・給湯器があれば水が使用できお湯も沸かせます!





Point
1

安心

ご自宅でガスと電気を
使用でき、復旧まで
自宅で過ごすことが
できます。

一番落ち着ける
自宅で復旧まで待つ
ことができました。



Point
2

簡単

ガス業者が被災して
来れなくても、ご自宅で
ワンタッチで安全に
発電することが可能です。

「いざという時に
使い方が分からない！」
なんてことがないので
助かります。



**最大で150kg(ボンベ3本分)注入可能。
残量管理をする手間もなし！**

残量は通信を使って24時間365日監視しており、半分になれば業者により継ぎ足しが行われます。いざという時にガスが足りない困る！という心配はありません。

地震が起こっても倒れたりする心配なし！

基礎の上にボルトで固定しているため、
災害時にも安全が確保されています。

急な停電時に即対応！

急な停電…いつ復旧するか分からないまま待つ…そんな必要も無くなり
ます。I-ZATTOに発電機を繋げば、電気のある暮らしをす
ぐに取り戻せます。

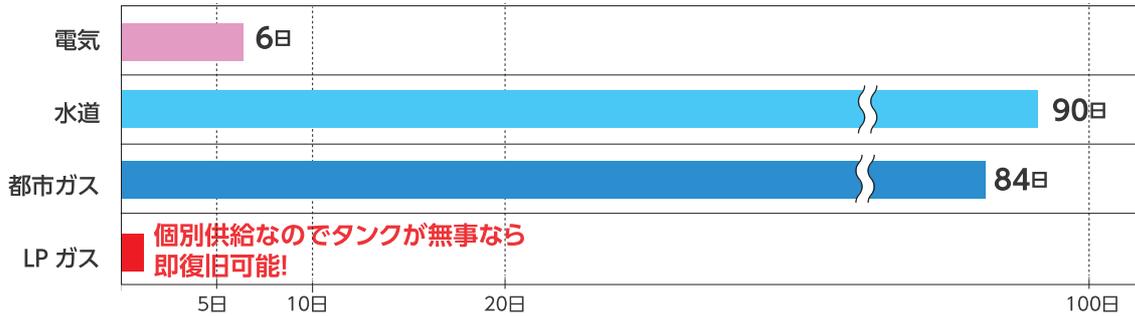
災害が起きたら…

ライフラインが復旧するまでにかかる日数



災害でライフラインがストップすると
復旧までに最短でも
数日かかってしまうようじゃ！

(1995年阪神淡路大震災時)



緊急時エネルギー使用可能時間(時間あたり900W使用した場合)

家庭用蓄電池 約7.2時間(約0.4日)

LPガス(バルク)
発電機ユニットを使用した場合
(150kgタンク満タン時)

約344時間(約14.34日)

これでは一晩しか
もたないぞ…

これなら復旧まで
ガスや電気に困ることは
なさそうじゃ！

災害時のライフライン復旧プロセス

LPガスの場合は？

LPガスは**個別供給**

使用中に震度5以上の地震があると
マイコンメーターが自動的にガスを遮断

被害がない場合
ご家族でマイコン
メーターで安全確認

被害がある場合
LPガス事業者による
安全確認・点検

使用可能

災害に強いLPガス

都市ガスの場合は？

都市ガスは**集団供給**

使用中に震度5以上の地震があると
マイコンメーターが自動的にガスを遮断



埋設配管を確認した後、数百戸~数千戸単位で
安全確認・点検をして使用可能



愛知県刈谷市

刈谷交通株式会社
代表取締役社長
横山 宜幸 様



タクシー燃料として必須のLPガスを災害時にも活用

我々タクシー事業者は、「公共交通」として年間 365 日、常に依頼を受けられるよう準備しておく必要があり、仮に災害が起こったとしても事業を継続することが求められています。災害により交通機関やライフラインがストップした際など、緊急時の「人」や「物」の移動・運搬手段として欠かせないものになるからです。



▲配車をコントロールするために、様々な電子機器を使用。電気は欠かせません。

また、タクシーはLPガスを燃料としており、毎回距離の離れたLPガススタンドまで各タクシーが充填に行かなければなりません。この間は当然お客様を乗せるわけにはいかず、単純な「経費」として負担が出ている状況でした。

そのような諸事情の中、社屋の移転に伴い、バルクガスと「I-ZATTO」のご提案をいただき、常時設置型で大容量備蓄可能、電気を備蓄する

よりも低コストで残量の確認・補充も定期的に行ってくれることもあり、あらゆる面でメリットしか考えられなかったため導入を決めました。

バルクガスの導入にあたり、「I-ZATTO」と同時に自社専用のLPガススタンドも設置しました。

地域のためにできること

新社屋建設の際、わが社の理念でもある「地域のためにできること」を念頭に置いた環境を整えるべきと考え、社屋の1階にユニバーサルトイレ(多目的トイレ)を設置。入口もバリアフリー化して一般の方にもご利用いただけるようにしました。災害時には近くの公園が避難所に設定されることを想定し、トイレ以外にも会議室などを開放し、休憩スペースにすることも考えています。



▲災害時は専用のコンセントを経由しI-ZATTOから給電する予定です。

普段の業務に加え、そのような理念からも災害時にガスや電気がストップしてしまうという事態を回避する必要性がありましたので、頑丈で災害に強く、非常時の発電など他にも

転用可能な「I-ZATTO」を設置したことにより、これまで抱えていたデメリットの解消と非常時に皆様のお役に立てる目途が立ったことに非常に満足しています。



正面玄関脇に設置されています



愛知県愛知郡東郷町

I 様御一家

いつか来る災害に備えて

以前私が千葉に住んでいた時に東日本大震災を経験し、妻も阪神大震災を経験していたため、それ以来ふたりとも災害への備えの重要性というものを意識するようになっていました。

3年前に家を建てる際、メーカーさんのグループ企業であるスマイルガスさんから「I-ZATTO」のご提案をいただき、タンク自体が非常に丈夫とのことだったので安心できたのと、「もしも」の時の備えという点で自分たちの懸念している部分を解決してくれると思ったので設置することにしました。

また、ご案内してくださったスマイルガスのご担当者さんの人柄が非常に良く、設置後のケアも含めて安心できそうだったのも大きかったです。その時のご縁でご担当者さんとは今でもお付き合いをさせていただいています。



停電しても自宅で過ごせるという安心感

うちには4歳の子供がいるのですが、夏の炎天下や冬の寒い中ずっと外で遊ばせるのもかわいそうなので、室内の温度を保つためにエアコンは欠かせません。室内で遊ぶにしても今の子どもたちはゲームやタブレットなど電気が必要になることが多く、うちの子どもはタブレットでよく動画を見たりしています。



もし今災害が起きて子供を連れて避難所に行ったとしても周りの方々に気を遣ってしまうというもあるので、それなら自宅でライフラインを確保し、近所にいる実家の家族と姉家族も一緒に集まれるような環境にしておきたいという思いがありました。

肝心な時に停電で冷蔵庫が使えず食料がダメになってしまうわけにはいけないので、それらの面からも、ガスの力を電気に転用できる「I-ZATTO」は必要だと思いました。

なにも起きないに越したことはありませんが、万が一なにかが起きてしまった場合でも「自分の家で過ごす」という選択肢ができたことにとても安心しています。



裏手に設置されています

